



ICT活用場面

授業中の小テスト

準備するもの

Microsoft Forms 生徒個人の各種端末

インターネットの利用

有

ICT活用のメリット

- 生徒は、自分の端末で問題に解答し、正答・解説をすぐにみることがができるので、即時フィードバックが得られる。また、URLがTeamsに掲載されていたり、QRコードが授業プリントに掲載されていることにより、繰り返し問題に取り組むことができる。
- 教師は、生徒が記入した振り返り等を、その場で一覧にして確認して紹介することが容易なため、生徒たちのよい意見を即時に共有できる。また、生徒の興味・関心を把握して話ができる。
- 教師は、設問ごとの正答率を容易に把握したり、点数を自動集計したりでき、成績処理が簡単になる。また、同形式で複数のクラスで利用したり、同僚と共有したりできるなど、汎用性が高い。

活用の手順

授業前

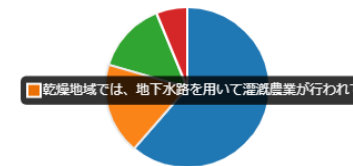
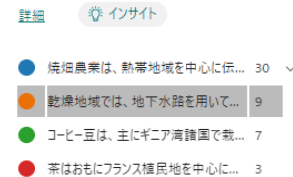
1. Microsoft Formsにアクセスし、新しいクイズを作成する。
2. 問題文・選択肢などを入力する。
3. 模範解答を設定する。
4. 解答ごとのフィードバック(解説)を設定する。

授業中

5. URLまたはQRコードを示し、生徒に問題を共有する。
6. 生徒が解答する。
7. 全体の正答率を確認し、全体向けに要点をしばって解説をする。



5. 適当なものを選び。(0 点数)
回答者の 61% (30/49) がこの質問に正解しました。



8. 個別の解答状況を見て、気になる生徒に声かけや支援を行う。

教師の振り返り

自動集計により、個々の生徒及び学年全体の理解度を把握しやすい。ため、実態に即した授業改善につなげやすい。生徒は、問題に何回も繰り返しアクセスし、復習等ができる点に好意的な意見が多い。